

愛媛県側9つの自治体と大分県側9つの自治体で新たな経済圏の循環などを目的に相互交流を図っており、その一環として、お互いの広報誌の相互掲載を行っています。

今回は「春特集号」です。海の向こうに目を向けてみましょう。



臼杵市 ～豊かな自然と歴史に育まれた食文化のまち～

臼杵市は、去る11月8日に「ユネスコ創造都市ネットワーク」の食文化分野への加盟を果たしました。これは、長年培われてきた、発酵・醸造文化や有機農業の推進などの取組が世界的にも評価されたものと考えています。

また、「田舎暮らしの本」2022年2月号（宝島社）にて掲載された、『2022年版 住みたい田舎ベストランキング』では、シニア部門第1位（人口3万から5万人のまち）を獲得しました。今回は、高く評価されている臼杵市の食文化や居住環境について紹介していきます。

発酵・醸造と質素倹約、循環型の食文化

臼杵市は、地質と地形に恵まれ、きめ細やかで、まろやかな柔らかい水に恵まれています。

この水が重要となる醸造業が1600年頃から始まり、人々が伝統を守りつつ、改良を加えてきた味噌・醤油・酒造りや、質素倹約の中で知恵を絞って生まれた郷土料理など、多様な食文化が発展してきました。

近年では、こうした市民が大切に培ってきた食文化に加え、有機農業や地産地消も推進しています。例えば、日本で唯一、市が草木などを主原料とした完熟堆肥を生産し、それを畑で使って育てられた「ほんまもん農産物」は市内外でもたいへん人気のブランド商品です。

臼杵市の歴史文化薫る食を、ぜひご賞味ください。



質素倹約の中で生まれた郷土料理



ほんまもん農産物

住み心地一番のまち臼杵

臼杵市は海、山、川など豊かな自然に囲まれたまちでありながら、生活に必要な場所がコンパクトにまとまっているほか、近隣へのアクセスも良く、市外への通勤もしやすい“ほどよさ”が人気です。

臼杵市への移住は、若年・子育て世代はもちろんシニア世代からの人気も高く、空き家バンクを活用して住宅を購入し、家庭菜園をしながら悠々自適な暮らしがしたいという要望をいただくことがあります。空き家バンクの物件を畑とセットで購入し、移住後に有機農業を始めたシニア世代もいます。

また、医療や介護も充実しており、行政と医師会が連携した「うすぎ石仏ネット」という医療・介護施設・消防署を結ぶ情報ネットワークがあります。これまでの病気や薬の内容、検査結果などを記録して、参加機関の間で共有し、無駄のない質の高い医療・介護サービスを提供しています。救急車を利用する際、消防職員が病気の状態を素早く把握することができ、適切な医療を施すことで、一命をとりとめる例も出てきています。



臼杵市の風景



臼杵石仏ネットのイメージ

問合せ 臼杵市役所 秘書・総合政策課 ☎0972-63-1111